

## みなさんへ ~さまざまな立場や場面での**私**の学びを~

「21世紀は人権の世紀」と、さまざまな場で行われています。でも「人権」は何もしないで、私たちの暮らしの中にはやってきません。

一人ひとりが自分の人権を守り、そして相手の人権を尊重できるようになれば、「人権の世紀」は実現できません。

私たちが抱えているさまざまな人権問題について一つ一つ学びながら、誰もが幸せに生きていけるように、考え合ってみませんか？

そして、あなた(**私**)が感じ・学びとったものを、家族や友人、地域・職場の人たちなど身近な人に伝えていきましょう。

きっと、人と人との温もりのある『つながり』が生れてくるはずです。



### もくじ

- 1ページ 同和問題
- 2ページ 女性問題
- 3ページ 高齢者問題
- 4ページ 障害者問題
- 5ページ 子どもの問題
- 6ページ 外国人問題
- 7ページ ユニバーサルデザイン

## 『同和地区』出身者との結婚問題に直面した**私**は…

まだまだ「こんな現実」がある中で



いざ自分のことになると…でも**私**の母は

(私)「**私**、結婚を考えてるの。相手の人は『同和地区』の人なの。お母さん、どう思う？」

(母)「そうなの。でも、『同和地区出身』かどうかよりも、その人がどんな人かが大切なんじゃないの？」

(私)「でも、親戚からいろいろ言われるんじゃないの？ 生れてくる子どものこともあるし…」

(母)「もし反対するような親戚がいたら、どこがどう悪いのよって、言ってやるわ。

そんなこと気にしているあなたこそ、おかしいんじゃないの。

ところで、もしお父さんやお母さんが反対したら、あなた、結婚あきらめるの？」

(私)「でも、親の反対を押し切ってまで結婚するのは、親不孝かもしれないと思って…」

(母)「結婚するのは親や親戚ではなくて、あなた自身でしょう。

自分で決められなくてどうするの、しっかりしなさいよ」

母の「言葉」を**私**自身に問いかけながら…



豊かな「知性」と、みずみずしい「感性」で、  
部落差別を断ち切る「行動」ができる**私**になりたい